



「認知症サポーター養成講座」

～認知症になっても、安心して暮らせる地域を～

市では、認知症になっても安心して暮らせる地域を目指し、「認知症サポーター養成講座」を行っています。市の出前講座にもなっていますので、地域や職場、学校などで開催してみませんか。



▲ロバ隊長ぬいぐるみ

認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を支える応援者のことです。日常生活の中で、自分ができる範囲で見守りや声かけ、お手伝いをします。

認知症サポーターになった証として、認知症サポーター養成講座の受講者に、オレンジリングをお渡しします。また、企業や団体を対象にサポーターの存在お知らせするステッカーや、ロバ隊長ぬいぐるみを交付しています。



私たちも認知症サポーターになりました

▲新潟看護医療専門学校村上校1年生

【平成20～30年度の実績】

- ・村上市認知症サポーター数 延べ5,993人
- ・認知症サポーター養成講座開催数 207回 [うち企業数27企業 (延べ40回)、学校数7校 (延べ10回)]

●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111 (内線3431)
または各支所地域振興課地域福祉室

健康管理への意識を高めましょう

医療費通知とジェネリック医薬品差額通知を送付します

市では、国民健康保険加入者に健康管理への意識を高めるため、次の通知を行っています。

医療費通知

(4・7・2月に送付)

国民健康保険で診療を受けた医療費の総額をお知らせするものです。

通知が届きましたら、受診した医療機関、診療年月日、日数、金額を確認してください。

記載された診療を受けていない場合は、担当までお問い合わせください。

※医療費通知は、医療費控除の申告に使用することができますので、大切に保管してください

※今年度は、4・7月は「はがき」、2月は「封書」での発送を予定しています

ジェネリック医薬品差額通知

(8・11・3月に送付)

処方された薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、窓口での負担額がどのくらい安くなるかをお知らせするものです。

ジェネリック医薬品への切り替えを希望する場合は、医師や薬剤師に相談してみましょう。

※ジェネリック医薬品とは、新薬（先発医薬品）の特許期限が切れた後に製造・販売される安い薬のことです。効き目や安全性は新薬とほぼ同等です。症状やアレルギーなどの体質によってジェネリック医薬品に切り替えられない場合があります



通知が届いたら、内容の確認をお願いします

保健医療課国保室
伊藤主事

●問い合わせ

保健医療課国保室

☎53-2111 (内線2412)